

Swimming Pool Safety Tips 2009年7月3日発、米国のABC NEWSより

クリプトと言う耳なれない寄生虫による中毒が多発して、夏のプールが閉鎖に！

スイミングプールの安全が寄生虫に侵される

By ELISABETH LEAMY and SHEILA EVANS July 3, 2009



夏の水銀柱の上昇に伴い、スイミングプールの季節が到来した。ところが今年はプールに入る前に、そのプールは安全かどうか確認しなければならない事態が起こっている。

昨年、アリゾナ州（アメリカ）南部のフェニックス市は、21の公共スイミングプール全てを閉鎖する事態に追い込まれた。原因はプールで遊泳者が

感染したからである。今年は昨年の感染事故を避けるため、市は監視員を配置して遊泳者がプールに入る前にシャワーや消毒槽で体を十分洗浄するなどの指導をし、幼児には水泳用おむつの着用を規制した。そのためおむつの自動販売機をプールに設置した。

これらの全ては、耳なれないクリプトスポリジウム（*cryptosporidium*）と呼ばれる水中の病原微生物が原因で、これに感染すると、腹痛の伴う下痢や嘔吐をおこし、数週間発熱が続く。



この寄生虫に感染すると多額の費用も必要になる。例えば昨年ユタ州の学校の先生 Jenni Broomhead さんは学生をプールに連れていき、そこで学生はクリプトに感染し、病院に数千ドル(数十万円)を支払うはめに陥った。「18-19 才の生徒たちが、一日中痛みのために床に転がってエビのように体を縮めて涙を流し、本当に大変でした」と彼女は語った。

Pool Parasite Infections on the Rise

プールで寄生虫症が増加している

フェニックス市は今年すでに、クリプト感染で 29 のプールの閉鎖に追込まれた。通称クリプトとして知られているクリプトスポリジウムは塩素に強い病原性寄生虫で、感染例は年々増えている。クリプト虫はプール、池、その他の水圏に当り前に生息している。人間がクリプトを摂取すると、二週間程度の低い発熱が続き、下痢、腹痛、吐き気、嘔吐などの症状が起こる。厄介な虫は時には人間の体内や動物の排泄物の中で発見され、それらはまた水中へ移ってゆく。クリプトは固い殻に覆われているため、塩素系殺菌剤に耐性があるため、塩素消毒依存の現在、あらゆるところで障害を起こしている。

米国の感染症管理センター(Center for Disease Control and Prevention: CDC)によると、クリプト障害は近年倍増している。事実、Phoenix 市は今夏の早い時期に 100 人がクリプトに感染したあと全ての公立プールを閉鎖した。昨年は Utah 州で州規模の大流行が起こり 2000 人がクリプト症に感染した。又 2005 年には New York 州の Seneca Lake State Park 内の spray park(噴水公園?)で 4000 人の患者が出て病院で治療を受けた。

Tips on Avoiding Crypto クリプト除去法

幾つかのプールはクリプト対策に乗り出している。Provo (Utah 州) の Seven Peaks Water 公園は 2,400 万円 (\$250,000) を費やして紫外線システムを導入した。しかし園はこれでも対策は不十分と考え、人々の理解を得てプール水の汚染を防ぐ対策が必要としている。ユタ州当局は公立のプールでは、幼児に水泳用おむつの着用を求めている。同時に下痢症状を起こしている者は、二週間は遊泳禁止とした。



To learn more about how to keep pool safe, visit healthyswimming.org.